

令和元年度土壤医の会等の活動に対する助成要綱に基づく事業の公募要領

令和元年 10 月
土壤医の会全国協議会

「土壤医の会等の活動に対する助成要綱」（以下、助成要綱）に基づいて行います令和元年度の事業申請は次の要領で行います。

1. 令和元年度の公募対象事業の内容等

公募対象事業は、助成要綱の 2 の(2)の①適切な土壤診断と処方箋作成を支援していく上で必要なデータベース整備事業と②農業高校等への出前研修への講師派遣事業とします。（※昨年度と助成対象事業は同じです。）

それぞれの事業の内容、助成金額と申請内容は次のとおりです。

(1) 適切な土壤診断と処方箋作成を支援していく上で必要なデータベース整備事業

ア、調査試験内容

本調査試験は適切な土壤診断と処方箋作成を支援していく上で必要なデータベース整備のためのデータ取得を支援するため助成するものです。その対象とする調査試験内容は、

- ①「作物生育障害の症状の特徴とその発生土壤等環境」と
- ②「有効態リン酸含量と作物別生育との関係とリン酸を減肥しても収量等が低下しないリン酸水準」です。

なお、調査試験結果の報告は「土壤医資格登録と継続研鑽に関する要綱」の業績 C の a に該当しますので、継続研鑽単位 (CPD 単位) としてその内容により一件当たり 5～30 単位が付与されます。

イ、助成金額

助成金の使途は基本的にデータを取得するための調査旅費と土壤分析費等であり、一件当たり 50,000 円を限度として交付致しますが、内容によっては一件当たり 100,000 円までを限度額とします。

ウ、申請内容

次の項目に沿って記載した申請書を作成して下さい。

- ①申請者名(土壤医の会名または正会員名)
(採択後に助成金の受け取り者名や口座名等を事務局にご連絡下さい。)
- ②テーマ名
(「作物生育障害の症状の特徴とその発生土壤等環境」、「有効態リン酸含量と作物別生育との関係とリン酸を減肥しても収量等が低下しないリン酸水準」の別)

③実施担当者名

(担当者が複数いてもかまいません。)

④調査目的

(生育障害等の発生場所が明らかで、その因果関係の土壌分析データ等が不足しており調査を実施するや新たにデータを取得するためポット等試験を行うなどと記述)

⑤調査試験内容

(対象作物名、生育障害の概要、土壌の種類、土性、主な分析項目名等)

⑥調査、試験期間

(調査、試験年度が次年度にまたがってもかまいません。)

⑦事業申請金額

(詳しい積算は必要ありませんが、主な使途を明記して下さい。)

⑧事務局への調査試験結果報告書の提出予定月日

(2)農業高校等への出前研修への講師派遣事業

ア、事業対象内容

出前研修(補習)は農業高校や農業大学校の学生等を主な対象として土壌医検定試験に関する参考書の内容を講義するものです。農業高校や農業大学校と出前研修の実施協議が整った場合に申請して下さい。出前研修先は都道府県内を基本とします。

なお、土壌医検定試験に関する出前研修のCPDについては、令和元年9月25日付けで「土壌医資格登録と継続研鑽に関する要綱」が改正され、講師の継続研鑽単位(CPD単位)が5単位/時間(相手先機関との実施協議時間を含む)となっております。出前研修実施後、申請様式に基づいてCPD単位申請を事務局に提出をお願いします。

なお、全国協議会が講師派遣を依頼している案件については、事務局への申請を必要としません。

イ、助成金額

県内派遣については、講師の旅費と謝礼として一人あたり5千円/日(定額)とします。

ウ、申請内容

次の項目に沿って記載した申請書を作成して下さい。

①申請者名(土壌医の会名または正会員名)

(助成金の受け取り者名や口座名等を事務局にご連絡下さい。)

②研修会または補習を行う講師の氏名

③対象農業高校または農業大学校名

④研修会または補習の開催予定月日

(※相手先機関からの講師派遣依頼書を添付して下さい。)

(※相手先機関の窓口となる先生名や教材の必要部数等細部が固まりましたら事務局にご連絡下さい。)

2.申請手続き、事業実施結果の報告等

- (1) 事業の申請は申請内容の項目に基づき記載した申請書をメール等で事務局に送付して下さい。なお、申請内容の審査は、助成要綱の5に基づき全国協議会会長、副会長、研鑽部会長、調査研究部会長、土づくり普及部会長と土壌協会代表で行います。審査結果については、申請者にご連絡します。
- (2) 事業申請の締め切り日は特に設定しておらず随時行えますが、今回の公募は申請額の合計が全国協議会の予算 300,000 円の枠を超える状況になった場合には一旦交付受付を中止します。その際、全国協議会のホームページ上で交付受付を中止する旨の掲載をします。その後、予算確保の見通しが立った時点で予算枠を設定し、公募を再開する予定です。
- (3) 事業実施結果の報告は申請書に記載した事業実施期間の終了後、速やかに事務局に提出して下さい。事業実施結果の報告書の提出後に助成金の支払いを致します。
- (4) 報告書の提出様式は次のとおりです。
 - ①農業高校等への出前研修への講師派遣事業の報告書は「土づくり普及のための農業高校、農業大学校等に対する出前研修」に関する CPD 申請書をもって報告書とします。
 - ②適切な土壌診断と処方箋作成を支援していく上で必要なデータベース整備事業については、次の報告様式に従って結果を報告して下さい。
なお、極力、生育障害の症状等の写真を多く添付して下さい。

(報告書提出様式)

(1) 作物生育障害の症状の特徴とその発生土壌環境に関する調査試験

①調査試験名

(例:ハクサイの芯腐れ症等)

②調査試験実施場所

(県名、地域名と露地、ハウスの別等)

③生育障害の症状

(症状の写真と特徴)

④生育障害の発生要因

(例:窒素過剰によるカルシウム欠乏等)

⑤発生圃場の土壌状況

(土壌の種類、土性、化学分析結果等についてわかる範囲でお願いします。)

⑥実施した改善対策と結果

⑦その他

(関係する参考になる資料があれば添付をお願いします。)

(2)有効態リン酸含量と作物別生育の関係とリン酸を減肥しても収量等が低下しないリン酸水準の調査試験

①調査試験名

(例:〇〇作物の生育と土壌中有効態リン酸含量)

②実施場所

(県名、調査場所等)

③調査対象土壌

(土壌の種類、土性、化学分析結果等関係するデータ)

④有効態リン酸と作物生育との関係の調査試験結果又はリン酸を減肥しても収量、品質が低下しないリン酸水準に関する調査試験結果

(データと写真)

⑤その他

(参考となる関係文献等があれば添付をお願いします。)